

[05_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467996>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (1), 1972-02-22. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

ジョブ問合せ装置について

今まで、ジョブの問合せについては随分御迷惑をおかけした事と思います。今回ジョブ問合せ装置がセンターに設置され、問合せ装置を動かすソフトウェアの開発も順調に進み、11月1日より試験的に使用しております。

問合せ装置は電話と表示盤の2種類からなっており、学内（九州大学内）の利用者は今後ジョブの問合せは直接これを利用して行なってください。

学外（九州大学外）利用者は、問合せ装置が使用できませんし、ジョブ番号も分っていませんので(092)-64-1101内線 2257 受付に電話してお尋ねください。

以下に電話による問合せ手順、表示盤による問合せ手順を記します。

なお、当分の間計算済、出力済、ジョブ完了は結果がラインプリンタ装置で打ち出される時点を指していますので、返却箱に入るまでは多少時間のかかる場合があります。

表示盤はセンターの二階ロビーおよび五階滞在者控室に設置しております。

1. 電話による問合せ手順

- ① 学内電話からは、“69”をダイヤル（センターの電話からは“769”）します。
- ② 話中音（一般の電話と同じ）のときは、しばらく時間をおいて、①より繰り返してください。
- ③ 特殊音（話中音より低く長い音）のときは、問合せたいジョブの受付番号6桁をダイヤルします。
- ④ 特殊音が7～8秒続いた後、次の4つの音声のうち1つが返ってきます。

- ・ 該当番号がありません。
- ・ 計算待ちです。
- ・ 計算中です。
- ・ 計算済みです。

⑤ 話 中 音

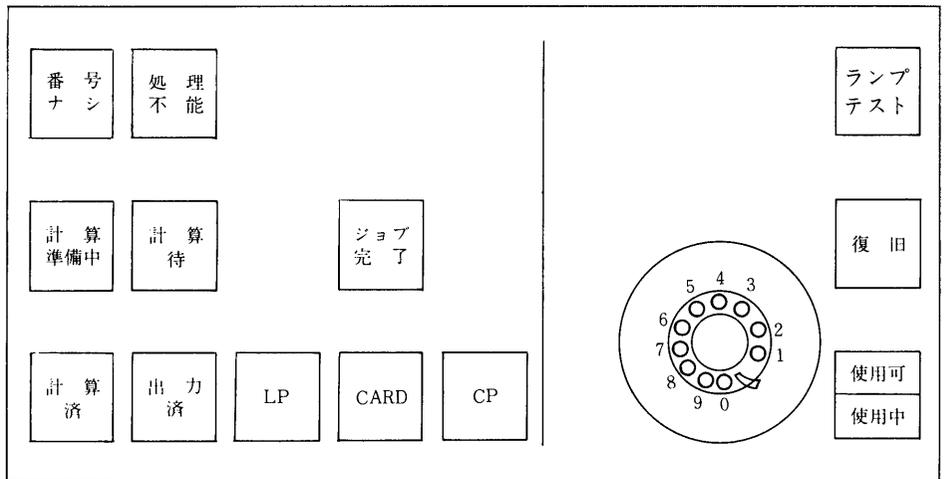
- 注 1. ダイヤル間隔は一般の電話と同じ要領で行なってください。
2. 間隔があき過ぎると話中音となります。
3. 話中音のときは、一度電話を切って①より繰り返してください。

2. 表示盤による問合せ手順

- ① （使用可、使用中）ランプを押します。
- ② 使用可ランプが点灯しなければ、しばらく時間をおいて①より繰り返してください。
- ③ 使用可ランプが点灯したならば、問合せたいジョブの受付番号6桁をダイヤルします。
- ④ 使用中ランプ点灯。
- ⑤ 7～8秒後情報ランプが点灯します。
- ⑥ 復旧ボタンを押しておきます。

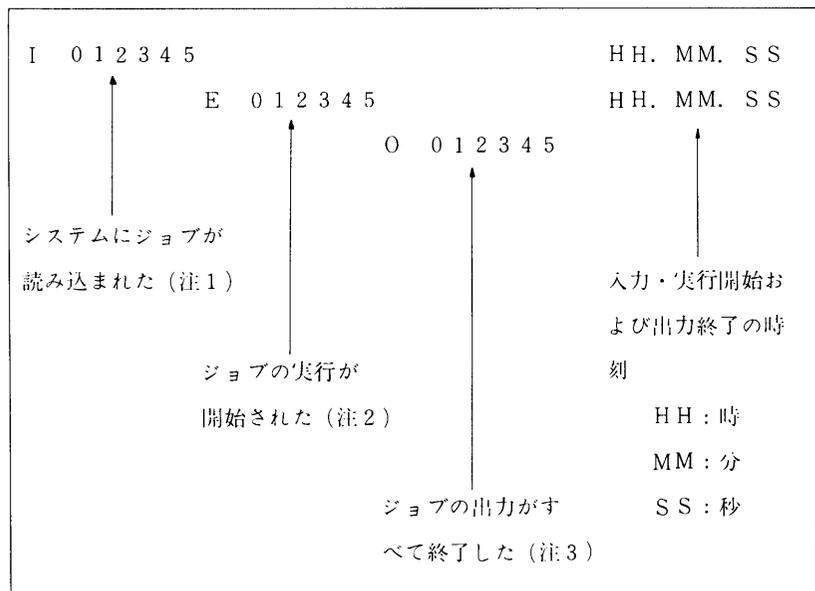
- 注 1. ダイヤル間隔は一般の電話と同じ要領で行なってください。
2. ダイヤルを誤ったとき、使用中ランプや情報ランプ点灯中のときには復旧ボタンを押した後①より繰り返してください。

表示盤



以上2つの間合せは、利用者のジョブ処理をしている時のみ可能です。なおセンターロビーのJP 1500 (オンラインタイプライタ F1592A) に個々のジョブ入力、実行開始、出力終了のメッセージを出していますので併せて御利用ください。

JP 1500 へのメッセージの意味



- 注1) 読み込まれたジョブで実行が開始されていないジョブはたかだか30件ですので、実行が開始されるまで約1時間です。ただし、B、Cジョブはこれ以上となることがあります。
- 注2) Aジョブの場合ですと、出力が終了するまで10分～20分程度です。
- 注3) 仕訳はほぼ15分間隔でしておりますので、このメッセージが出たあとだいたい15分以内に返却箱に入るのが普通です。